

2019年度 12月 薬事委員会報告

開催日：令和元年12月17日(火)

I. 新規採用申請医薬品

No.	医薬品名	分類番号	規格	薬価(円)	備考
	(会社名)	申請医師			
1	フォシーガ錠5mg	3969 選択的SGLT阻害剤	5mg1錠	195.10/錠	新規採用
	アストラゼネカ	循環器内科：高見			
2	サムスカOD錠7.5mg	2139 V2-受容体拮抗剤	7.5mg1錠	1,298.50/錠	新規採用
	大塚製薬	消化器内科：伊藤			

(審議内容)

1 フォシーガ錠5mg

・糖尿病治療薬であるが、近年数々の心血管イベントの抑制効果が証明されており、循環器学会等のガイドラインにおいても、心不全治療薬として推奨されているため院内でも使用したい。
以上の申請理由により審議がなされ、**新規採用**が承認された。

2 サムスカOD錠7.5mg

・現在サムスカ錠を採用としているが、今後メーカーがOD錠への切り替えを行うため、現在の在庫が終了次第OD錠への切り替えをお願いしたい。
以上の申請理由により審議がなされ、サムスカ錠からの切り替えで**新規採用**が承認された。

II. 患者限定申請医薬品

No.	医薬品名	分類番号	規格	薬価(円)	備考
	(会社名)	申請医師			
1	レボレード錠12.5mg	3999 経口造血刺激剤	12.5mg1錠	2,539.60/錠	限定採用
	ノバルティス	内科：近藤			
2	チエナム点滴静注用0.5g	6139 カルバペネム系抗生物質製剤	0.5g1瓶	1,241/瓶	限定採用
	MSD	外科：里見			
3	スミスリンローション	6429 駆虫剤	5%1g	75.80/g	限定採用
	クラシエ	皮膚科：橋本			
4	エリスロシン錠200mg	6141 マクロライド系抗生物質製剤	200mg1錠	13.70/錠	限定採用
	マイランEPD	呼吸器内科：野澤			
5	ホスリボン配合顆粒	7322 経口リン酸製剤	100mg1包	71.70/包	限定採用
	ゼリア	神経内科：古本			
6	ラロキシフェン塩酸塩錠60mg「EE」	3999 骨粗鬆症治療剤	60mg1錠	41.30/錠	限定採用
	エルメッド	呼吸器内科：江渡			
7	ラスリテック点滴静注用7.5mg	3959 がん化学療法用尿酸分解酵素製剤	7.5mg1瓶	52,257/瓶	限定採用
	サノフィ	総合内科：上原			
8	ユニタルク胸膜腔内注入用懸濁剤4g	4299 悪性胸水治療剤	4g1瓶	7,105/瓶	限定採用
	ノーベル	呼吸器内科：野澤 乳腺外科：中野			
9	フォシーガ錠5mg	3969 選択的SGLT2阻害剤	5mg1錠	195.10/錠	限定採用
	アストラゼネカ	循環器内科：高見			
10	ハイドレアカプセル500mg	4229 抗悪性腫瘍剤	500mg1錠	268.40/錠	限定採用
	ブリストル	総合内科：上原			
11	プログラフカプセル1mg	3999 免疫抑制剤	1mg1カプセル	655.70/錠	限定採用
	アステラス	消化器内科：芳賀			
12	アレセンサカプセル150mg	4291 抗悪性腫瘍剤/ALK阻害剤	150mg1カプセル	6,737.1/カプセル	限定採用
	中外	呼吸器内科：西村			

(審議内容)

1 レボレード錠12.5mg

・難治性特発性血小板減少性紫斑病の患者に有用な薬剤のため使用したい。
以上の理由により申請され、**患者限定使用**として報告された。

2 チエナム点滴静注用0.5g

・直腸癌ステント留置後発熱継続し骨盤内膿瘍の疑い。ICTよりチエナム使用のコメントを頂いたため。
以上の理由により申請され、**患者限定使用**として報告された。

- 3 スミスリンローション5%
・爪疥癬患者の治療のため使用したい。
以上の理由により申請され、**患者限定使用**として報告された。
- 4 エリスロシン錠200mg
・びまん性汎細気管支炎に対するマクロライド少量長期投与目的。
以上の理由により申請され、**患者限定使用**として報告された。
- 5 ホスリボン配合顆粒
・リフィーディング症候群に伴う低リン血症の内服治療のため。
以上の理由により申請され、**患者限定使用**として報告された。
- 6 ラロキシフェン塩酸塩錠60mg「EE」
・持参薬継続のため。
以上の理由により申請され、**患者限定使用**として報告された。
- 7 ラスリテック点滴静注用7.5mg
・悪性リンパ腫で腫瘍量が多く、腫瘍崩壊症候群の危険性が高いため。
以上の理由により申請され、**患者限定使用**として報告された。
- 8 ユニタルク胸膜腔内注入剤4g
・胸膜癒着目的にて胸腔内に投与したい。
以上の理由により申請され、**患者限定使用**として報告された。
- 9 フォシーガ錠5mg
・心不全で2型糖尿病患者に対して使用するため。
以上の理由により申請され、**患者限定使用**として報告された。
- 10 ハイドレアカプセル500mg
・新規に生じた本態性血小板血症の患者に対して使用。
以上の理由により申請され、**患者限定使用**として報告された。
- 11 プログラフィカプセル1mg
・持参薬継続のため。
以上の理由により申請され、**患者限定使用**として報告された。
- 12 アレセンサカプセル150mg
・ALK陽性肺腺癌患者の治療目的で使用したい。
以上の理由により申請され、**患者限定使用**として報告された。

Ⅲ. 新規院外登録申請医薬品

No.	医薬品名	分類番号	規格	薬価(円)	備考
	(会社名)	申請医師			
1	リンデロン点眼液0.01% シオノギ	1315 眼科用合成副腎皮質ホルモン剤 眼科:新井	0.01%1mL	392.80/mL	院外登録
2	プロタノールS錠15mg 興和	2119 心機能・組織循環促進剤 循環器内科:高見	15mg1錠	25.00/錠	院外登録
3	ブリリント錠60mg/90mg アストラゼネカ	3399 抗血小板剤 泌尿器科:一色	60mg1錠 90mg1錠	100.50/錠 142.30/錠	院外登録
4	レルミナ錠 武田	2499 GnRHアンタゴニスト 産婦人科:岡嶋	40mg1錠	911.50/錠	院外登録

(審議内容)

- 1 リンデロン点眼液0.01%
・ぶどう膜炎に対し、0.1%リンデロン点眼から低濃度ステロイドに漸減する際に使用したい。
以上の理由により申請され、院外登録として報告された。
- 2 プロタノールS錠15mg
・完全房室ブロック等の高度徐脈、特にアダムス・ストークス症候群における発作防止のため古くから使用されている。超高齢化に伴い、ペースメーカー埋め込みを行わず薬物療法で対応している患者に対する投薬目的で使用したい。
以上の理由により申請され、院外登録として報告された。
- 3 ブリリント錠60mg/90mg
・急性冠症候群、PCI後のDAPT施行時にクロピドグレルやエフィエントでの肝障害等の副作用が一定の頻度であるためその際には本剤へ変更している。この際使用する90mgの他、陳旧性心筋梗塞で糖尿病多枝病変等々の理由でDAPT継続が必要な患者への適応は60mgであるため2剤とも登録いただきたい。
以上の理由により申請され、院外登録として報告された。

4 レルミナ錠40mg

・GnRHアンタゴニストでは従来ボンゾールが使用されていたが、副作用である肝障害、挫創、血栓症などからGnRHアゴニストに変換されてきた。本剤はボンゾールの副作用を軽減し、更にGnRHアゴニストのフレアアップ現象が無い利点がある。リュープリンと同効だが、月1回注射と毎日の経口内服とではそれぞれメリット・デメリットがあり、リュープリンも併用として残したい。以上の理由により申請され、院外登録として報告された。

V. 令和元年11月28日 抗生物質小委員会報告

- ・10月分のカルバペネム系抗生物質（13例：9月より4例増）
- ・10月分の抗MRSA薬（3例：9月より3例減）
- ・継続投与 メロペネム1例
バンコマイシン1例（難治性のため14日を超えて使用）
- ・IGTラウンド4回報告資料通り

VI. 令和元年11月1日～令和元年11月30日の医薬品情報提供

- ① Drug Information（毎週金曜日）5回発行
- ② 医薬品切り替えのお知らせ 3回発行
- ③ 医薬品・医療機器等安全性情報367、368号

VII. 期限切迫医薬品について

前回の薬事委員会報告後に使用された期限切れ半年以内の薬剤使用金額合計は53,689円であった旨、報告された。

VIII. その他

① 医薬品回収情報

・ピバレフリン点眼液0.1%/0.4%（院外登録品）

製造委託先の同一製造ラインで製造している他社製品においてガラス異物が発見され、一部ロットについてガラス異物が混入した可能性が確認されたため、自主回収し当該製品の供給を一時的に停止するとの連絡があった旨、報告された。

② 医薬品供給情報

・セファゾリンナトリウム注射用（採用品）

供給停止となっていたが、12/1に月間購入数の約50%に相当する48箱（480バイアル）を納入した。次回納入（同じく約75%相当量）は12月中旬の予定であるが、日程や数量は未定である旨、報告された。

・アネメトロ点滴静注液500mg（採用品）

2018年12月頃より出荷調整が継続しており、現在使用量が増加し次回納品日が未定の状況で在庫消尽が予測される旨、報告された。

・エピペン注射液0.15mg（患者限定採用品）

海外製造元からの出荷遅延に伴い、日本国内においても一時的な供給逼迫が避けられない見込みとの連絡があった旨、報告された。現時点での供給逼迫の解消時期は不明。なお、0.3mg製剤については影響がないことも併せて報告された。

・スタレボ配合錠L50/L100（院外登録品）

先月の薬事委員会にて12月上旬以降供給が滞る可能性があるとの報告を行った。その後、通常通りの供給再開の目処が立ち、12月上旬より出荷を再開するとの連絡があった旨、報告された。

・マキュエイド眼注用40mg（採用品）

委託製造所において、原薬受入時の確認試験を承認書と異なる方法で実施していることが判明し、供給を一時停止するとの連絡があったが、その後問題の無い製品が入荷されたとのことで、供給停止の案内から3日後に供給再開となった旨、報告された。

③ 医薬品販売中止情報

・アクリノール消毒液0.1%「東豊」(採用品)

現在所有している製剤原料が無くなり次第(2020年12月頃)販売を終了するとの連絡があった旨、報告された。経過措置期間は2020年3月を予定している。なお、原薬入手困難のため、同等品の販売を各社が中止しており、代替薬の確保は厳しい見込み。

・ピルシカイニド塩酸塩静注50mg「YD」(採用品)

2020年2月頃に販売を中止するとの連絡があった旨、報告された。経過措置期間は2020年3月末日の予定とのこと。同成分の後発医薬品は当該製品のみであり、代替薬は先発医薬品であるサンリズム注射液50となる。今年1年で18A処方されており、先発医薬品の採用について処方医師等に確認していく。

④ 医薬品販売名変更情報

・デキササルチン口腔用軟膏1mg/g(採用品) → デキサメタゾン口腔用軟膏0.1%「NK」

新販売名製品出荷時期は2020年1月頃の予定。

⑤ 後発医薬品の使用状況について(令和元年11月30日時点)

直近3ヶ月累計の後発医薬品比率(数量割合)は96.4%であり、後発医薬品使用体制加算1の算定条件である数量ベース85%以上を維持していることが報告された。また、直近3ヶ月累計のカットオフ値は60.1%であり、50%以上を維持していることが報告された。

⑥ 後発医薬品への切り替え(案)について

10月薬事委員会にて提示された原案に対するアンケート結果が報告された。否定的な意見は無かったため、原案の方向で進めていく事が確認された。また、切り替え案の第2弾が提示され、今後原案の説明およびアンケートを行うことが了承された。

<後発医薬品へ切り替える品目>

現行採用品		後発医薬品
プレセデックス静注液200μg「マルイシ」	⇒	デクスメドミジン静注液200μg「サンド」または「ニプロ」 デクスメドミジン静注液200μg/50mLシリンジ「ニプロ」
ブイフェンド200mg静注用	⇒	ポリコナゾール点滴静注用200mg「YD」
ブイフェンド錠200mg	⇒	ポリコナゾール錠100mg「JG」または「アメル」【規格変更】
イレッサ錠250	⇒	ゲフィチニブ錠250mg 多社発売
ピタメジン静注用	⇒	リメファー3B注射液
ユリーFOD錠4mg	⇒	シロドシンOD錠2mg【規格変更】 多社発売
ミルリーラ注射液10mg	⇒	ミルリノン注10mg 多社発売
アルロイドG内用液5%	⇒	アルクレイン内用液5%
アンカロン注150	⇒	アミオダロン塩酸塩静注150mg「TE」
ピ・シフロール錠0.5mg	⇒	プラミベキソール塩酸塩錠0.5mg 多社発売
プログラフカプセル0.5mg/1mg(患者限定)	⇒	タクロリムスカプセル0.5mg/1mg 多社発売
プレディニン錠50mg(患者限定)	⇒	ミゾリピン錠50mg「サワイ」または「ファイザー」
ベンザリン錠5mg	⇒	ニトラゼパム錠5mg 多社発売
ネオーラル25mgカプセル	⇒	シクロスポリンカプセル25mg 多社発売
ガスコンドロップ内用液2%	⇒	バリトゲン消泡内用液2% パロス消泡内用液2% バルギン消泡内用液2%
ルブラック錠4mg	⇒	トラセミドOD錠4mg「TE」
ビソルボン錠4mg	⇒	プロムヘキシン塩酸塩錠4mg 多社発売
ピタメジン配合カプセルB25	⇒	シグマビタン配合カプセルB25 ダイメジンスリービー配合カプセル25
メジコン錠15mg	⇒	デキストロメトर्फアン臭化水素酸塩錠15mg 多社発売
フルイトラン錠2mg	⇒	トリクロルメチアジド錠1mg【規格変更】 多社発売

なお、剤型やメーカーの候補が複数ある品目に関しては、価格面、流通面等を考慮し薬剤部にて決定する。上記品目を後発医薬品に切り替えることで、半年間でおよそ360万円の削減につながる。

⑦ 採用削除薬(案)について

10月薬事委員会にて提示された原案に対するアンケート結果が報告された。否定的な意見は無かったため、原案の方向で進めていく事が確認された。なお、院内での採用を削除し、院外登録は継続する。

<院内採用削除となる品目>

アシクロビル顆粒40%「CHOS」	アスプールの液0.5% (50mL/本)
アデカット15mg錠	アナフラニール点滴静注液25mg
アラセナA点滴静注用300mg	アンブリット錠10mg
イーフェンバツカル錠100μg/400μg	エクラープラスター20μg/cm ²
オテズラ錠10mg/20mg/30mg	オルベスコ100μgインヘラー112吸入用
カチリ「ホエイ」	ゼスラン小児用細粒0.6%
セルシンシロップ0.1%	セレネース内用液0.2%
チョコラA筋注5万単位	テトカイン「杏林」20mg
テノゼット錠300mg	デュロテップMTパッチ4.2mg
テラプテック静注45mg	テラプテック皮下・筋注30mg
トラベルミン注	トラマール注100mg
ネオキシテープ73.5mg	フェノバル注射液100mg
フエロン注射用300万	プロクトセディル坐薬
ペガシス皮下注90μg/180μg	ペグイントロン皮下注用50μg/100μg/150μg
ペリアクチンシロップ0.04%	ポリドカスクレロール1%
ミラクリッド注射液10万単位	レスタス錠2mg
レスミット錠5mg	レペタン坐剤0.4mg
ワコビタール坐剤100mg	低分子デキストラン糖注
硫酸ポリミキシンB散50万単位「ファイザー」	

なお、削除検討リストのうちノボリン30R注フレックスペンは委員の意見を受け削除対象から外したが、在庫は置かず必要時購入の形とした。

⑧ レジメン内における制吐剤の変更について(報告)

29のレジメンにおいて制吐剤をアロキシからグラニセトロンへ変更した結果、アロキシ使用人数が減少し、金額として月平均13.1万円の削減となったことが報告された。

⑨ ファシール(閉鎖式薬物移送システム)の切り替えについて(報告)

抗がん剤調製にファシールを用いることで無菌製剤処理料1(180点)以上に材料費がかかってしまうため類似製品等でシミュレーションを行った結果、ファシールの納入価格が価格交渉により低下したこともあり、現行と変わらない方法で調製を行う場合が最も安く、180点内に収まることが報告された。

次回開催予定日 令和2年1月20日(月) 16:30から(IRB終了後)